

令和 5 年 7 月 10 日

長野県知事 阿部 守一 様

令和 5 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画書を提出します。

協定期間	令和 4 年度から令和 6 年度	
会社名	清水口建設株式会社	
住所	〒390-1242 長野県松本市大字和田4705番地3	
代表者名	代表取締役 伊藤浩一	
区分	中間処理	最終処分
許可番号	2024022097	
処理施設 所在地 (複数ある場合はそれぞれ記入)	施設名	所在地
	リサイクルセンター	長野県松本市大字島内910番地
担当部署	総務部	
担当者名	伊藤翔	
連絡先	TEL	0263-47-7000
	FAX	0263-47-0753
	電子メールアドレス	s.ito@shimizuguchi.com
ホームページアドレス	https://www.shimizuguchi.com	

1 産業廃棄物 3 R 実践方針

廃棄物のリサイクル率とリサイクル製品の品質向上を目指し、また、地域住民とのコミュニケーションを積極的にはかり地域の環境保全の一旦を担う企業として活動していきます。

2 取組み目標

(1) リサイクル率目標値（中間処理の場合） (%)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和5年度 目標値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値
がれき類	100	100	100	100
木くず	100	100	100	100
全 体	100	100	100	100

(2) 再生利用量目標値（中間処理の場合） (t)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	令和5年度 目標値	令和4年度 実績値	令和3年度 実績値	令和2年度 実績値
がれき類	66,000	66,749.1	69,736.8	65,889.6
木くず	12,000	12,602.1	11,920.2	17,977.9
全 体	78,000	79,351.2	81,657.0	83,867.5

(3) 最終処分量目標値 (t)

廃棄物の種類	当年度目標値	過年度実績値		
	年度 目標値	年度 実績値	年度 実績値	年度 実績値
全 体				

3 産業廃棄物管理体制

技術管理者（法律で定められたもの）	高田圭二郎
統括管理責任者（取り扱う産業廃棄物の全体的な管理）	高田圭二郎
衛生責任者（施設内、施設周辺の美化）	高田圭二郎

*必要に応じ管理体制組織図等を添付する。

4 産業廃棄物の種類、処理量、処理方法、排出ガス、排出水等に関する情報公開

事務所に産業廃棄物の排出量、種類、処理方法等を記載した資料を保管しています。
--

5 産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明

施設の名称	公開計画の有無	公開計画の概要又は公開計画無しの理由
リサイクルセンター	有 <input checked="" type="radio"/> 無	必要に応じて請求があれば公開します。
	有・無	

6 中間処理・最終処分を委託する場合の処理業者（施設）現地確認計画（中間処理業のみ）

区分	廃棄物の種類	現地確認計画
中間処理場	廃プラスチック類	年1回以上処理施設の現地確認を行います。
最終処分場	木くず	年2回以上処理施設の現地確認を行います。

7 従業員教育（研修）計画

項目	教育（研修）計画内容
社員教育	産業廃棄物取り扱い業者の責任等について教育します。
外部研修会等	外部の環境関連団体等の研修会へ積極的に参加します。

8 排出事業者への協力要請

排出事業者へは廃棄物を分別していただき混合廃棄物の抑制を協力依頼します。
また、搬入時には住民等に配慮した安全運転や搬入ルートを守っていただくように協力依頼します。

9 リサイクル技術向上に向けた取組み

リサイクル製品の製造工程中に重機による小割りや手作業による不純物の取り除きを行い、品質向上を行います。

10 不法投棄・不適正処理を発見した場合における協力体制

従業員に対し発見後速やかに上司へ連絡するよう指示しており、その情報に基づいて関係機関へ連絡します。

11 自社処理廃棄物の管理方法

廃棄物処分場に各廃棄物の保管場所を定め、処理量と併せて管理を行います。

12 その他協定の目的達成のため、独自に取り組む事項

代替素材への転換※1、環境認証制度※2の取得、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等を含む。

電子マニフェストを活用しペーパーレス、事務処理の効率化にも努めます。
また、安全大会等にて、法令・安全遵守について周知徹底します。
定期的にごみゼロ運動を行い清掃美化及び地域への奉仕活動に努めます。
エコアクション21を活用し廃棄物の減量及びエコ活動に取り組みます。

※1 化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと

※2 環境 ISO 14001、エコアクション 21 等